

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-146291(P2006-146291A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2004-331337(P2004-331337)

【国際特許分類】

G 0 8 C 17/00 (2006.01)

H 0 1 H 13/76 (2006.01)

H 0 1 H 13/16 (2006.01)

【F I】

G 0 8 C 17/00

H 0 1 H 13/76

H 0 1 H 13/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月30日(2007.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検出対象の行為をイベントとして検出する第1のセンサ部と、上記イベントと第1の識別情報を含む第1のデータを第1の基地局を介してサーバに送信する第1の無線送受信部と、を有する第1のセンサ装置と、
センシングデータを間欠的に取得する第2のセンサ部と、上記センシングデータと第2の識別情報を含む第2のデータを第2の基地局を介して上記サーバに送信する第2の無線送受信部と、を有する第2のセンサ装置と、
上記イベントの検出に基づいて上記第1のデータと上記第2のデータとを関連づけて上記検出対象の状況を推定するサーバと、
を有するネットワークシステム。

【請求項2】

請求項1に記載のネットワークシステムであって、
上記サーバは、上記第1及び第2の識別情報を上記検出対象に割り当てて管理し、
上記第1の基地局と上記第2の基地局が異なる場合、上記第1のセンサ装置が設置された場所に上記検出対象以外の検出対象が存在すると推定するネットワークシステム。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のネットワークシステムであって、
上記第1のセンサ装置は、椅子に設置される椅子接触ノードであり、
上記第2のセンサ装置は、名札ノード又は腕輪ノードであるネットワークシステム。

【請求項4】

請求項1乃至3の何れかに記載のネットワークシステムであって、
上記第1のセンサ装置はプロセッサ部をさらに有し、
上記第1のセンサ部が上記イベントを検出すると、上記第1のセンサ部の出力電圧レベルは変化し、
上記プロセッサ部は、上記出力電圧レベルの変化を検知して待機モードからアクティブモ

ードに移行し、上記第1の無線送受信部が上記第1のデータを送信するように上記第1の無線送受信部を制御し、再度上記待機モードに移行するネットワークシステム。

【請求項5】

請求項4に記載のネットワークシステムであって、

上記プロセッサ部はタイマを内蔵し、上記タイマより取得する時間に基づいて間欠的に上記待機モードから上記アクティブモードに移行し、上記第1のセンサ部が上記イベントを検出するように上記第1のセンサ部を制御するネットワークシステム。

【請求項6】

請求項5に記載のネットワークシステムであって、

上記プロセッサ部は、上記イベントを記録するメモリを内蔵し、

上記プロセッサ部が上記メモリに記録された前回のイベントと上記第1のセンサ部により検出されたイベントとを比較し、変化がないと判定した場合には上記第1の無線送受信部は上記第1のデータを送信せず、変化があると判定した場合には上記第1の無線送受信部は上記第1のデータを送信するネットワークシステム。

【請求項7】

第1のセンサ装置と、第2のセンサ装置と、サーバとを有するネットワークシステムにおけるデータ処理方法であって、

上記第1のセンサ装置は、検出対象の行為をイベントとして検出し、上記イベントと第1の識別情報を含む第1のデータを第1の基地局を介して上記サーバに送信し、

上記第2のセンサ装置は、センシングデータを間欠的に取得し、上記センシングデータと第2の識別情報を含む第2のデータを第2の基地局を介して上記サーバに送信し、

上記サーバは、上記イベントの検出に基づいて上記第1のデータと上記第2のデータとを関連づけて上記検出対象の状況を推定するデータ処理方法。

【請求項8】

請求項7に記載のデータ処理方法であって、

上記サーバは、上記第1及び第2の識別情報を上記検出対象に割り当てて管理し、

上記第1の基地局と上記第2の基地局が異なる場合、上記第1のセンサ装置が設置された場所に上記検出対象以外の検出対象が存在すると推定するデータ処理方法。